



**Go Abroad
To Scale !**

個別プログラム資料

BRIDGE by Activate

Ver1.0

BRIDGEプログラム概要	P3
プログラム構成・内容	P5
スケジュール	P10
運営体制	P13
応募要件・審査基準	P17
FAQ	P21

About BRIDGE Program

BRIDGEプログラム概要

プログラムの目的

全米トップレベルのディープテック起業支援実績を有するNPOであるActivateの支援のもと、グローバル水準のディープテックスタートアップ創出を目指し、事業化を次のステップへと前進させる。

1

対象



- 大学院生
- アカデミア所属の研究者
(博士研究員、教職員)
- DeepTech全域 (創薬・医療機器・再生医療を除く)
- 起業前～エクイティ調達前

2

提供価値



- 最大150万円支給
- 自身の技術シーズに基づく事業仮説と事業化計画を高度化
- 現地滞在を通じて、米国投資家や大手企業など米国エコシステムと接続

3

形式



- 9ヶ月間 (リモート+現地)
- 月1回の1on1メンタリング(60分)+グループコーチング(90分)
- 対面ワークショップ2回+US Imersion1週間

About Program Structure

プログラム構成・内容

2. PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成・内容

対面で実施される2回の国内ワークショップと1週間のUS Immersionに加え、9ヶ月のオンラインでの伴走支援を組み合わせたハイブリッド型のプログラムになっています。

In-person

- **対面WS①(開始時) | 3日間**
起業・商業化の動機や視点を整理しつつ、プログラム内コミュニティを形成
- **US Immersion(期中) | 1週間**
ActivateのFellows/Alumniと会い、米国のハードテック・エコシステムに接続
- **対面WS②(最終) | ショーケース**
東京のDeep Techエコシステムが集まるデモホール形式で成果を共有

Remote

- **1:1メンタリング**
月1回60分：各チームにカスタム伴走し、最優先改題の特定・解決に集中
- **グループコーチング**
月1回90分：横断テーマを深掘りし、相互FBで学びを加速
- **ピア・ポッド学習**
少人数グループでの進捗共有と相互支援、オンラインカリキュラム・ツールの提供



In-person | US Immersion

US Immersion

期中で1週間米国に滞在



日程	2026年10月（予定）
概要	<p>Activate の現役フェロー、卒業生、投資家、大手企業など、現地エコシステムと直接つながるため、米国での1週間集中プログラムです。</p> <p>アカデミア、スタートアップ、イノベーション拠点への訪問に加え、投資家・産業界のリーダー・政策立案者等との対話型セッションを行い、米国においてディープテックスタートアップが、どのように創出・スケールするかを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none">● アウトプット例： 国際展開における提携先候補や具体的な次ステップをまとめたGlobal Connections Plan
注意事項	実施時期は、米国の各種イベント等の開催時期にあわせ調整のうえ、最終決定を予定しています。

2. PROGRAM STRUCTURE | 学習体系

本プログラムは、ディープテックの事業化の要となる以下の4つの柱で構成されます。



Entrepreneurial Mindsets

不確実性の中での意思決定、目標設定、リーダーシップ



Product-Market Fit

市場規模分析、技術経済性評価(TEA)、顧客発見、知財・規制戦略



Strategic Relationships

チーム・アドバイザー組成、技術移転機関連携、事業開発



Fundraising & Communication

資金調達手法(助成金、VC等)、Go-To-Market(GTM)戦略、ストーリー構築、ピッチ

2. PROGRAM STRUCTURE | 成果物

参加者は、9ヶ月のプログラムを通じて、以下の資金調達や事業連携に有効な実践的なツールを獲得できます。

Personal impact Statement



事業の目的と
設立者の動機が接続した
ステートメント

GTM仮説と 検証プラン



事業仮説・検証計画や
重要リスク、
Go / No-goの判断基準

TEA / コストモデル



経済合理性を踏まえた
定量的評価モデル

チーム・ アドバイザー戦略



事業成長に必要な
人材の獲得・配置計画

ピッチデッキ



アドバイザーによる
レビュー済みの
投資家向けピッチ資料



◆参加インセンティブ

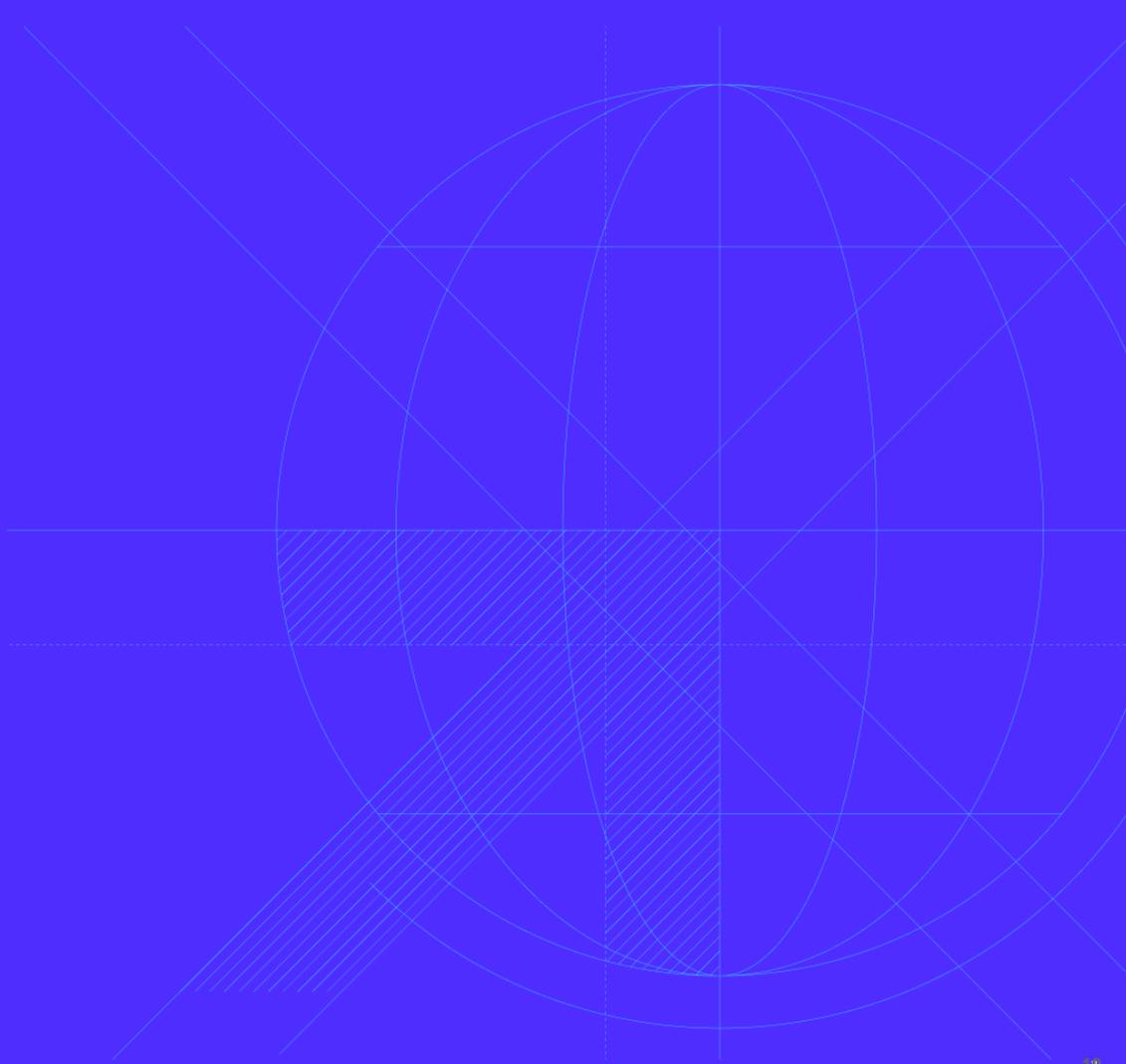


最大150万円の活動資金を提供（プログラム開始時に75万円、修了時に75万円※の予定）

※最終発表を完了し、プログラムの全要件を満たした参加者に支給

About Program Schedule

スケジュール



3. SCHEDULE | 全体

本プログラムは、募集・選考・9ヶ月間のプログラム実施を1サイクルとしております。
対面ワークショップをプログラムの最初と最後に、米国派遣を中間に配置し、学習効果の最大化を図ります。

◆年間運用スケジュール

	2026年										2027年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
応募者募集	▶													
選考			▶											
実施期間					▶ プログラム実施									
					国内WS#1		✈️ 米国派遣						国内WS#2	

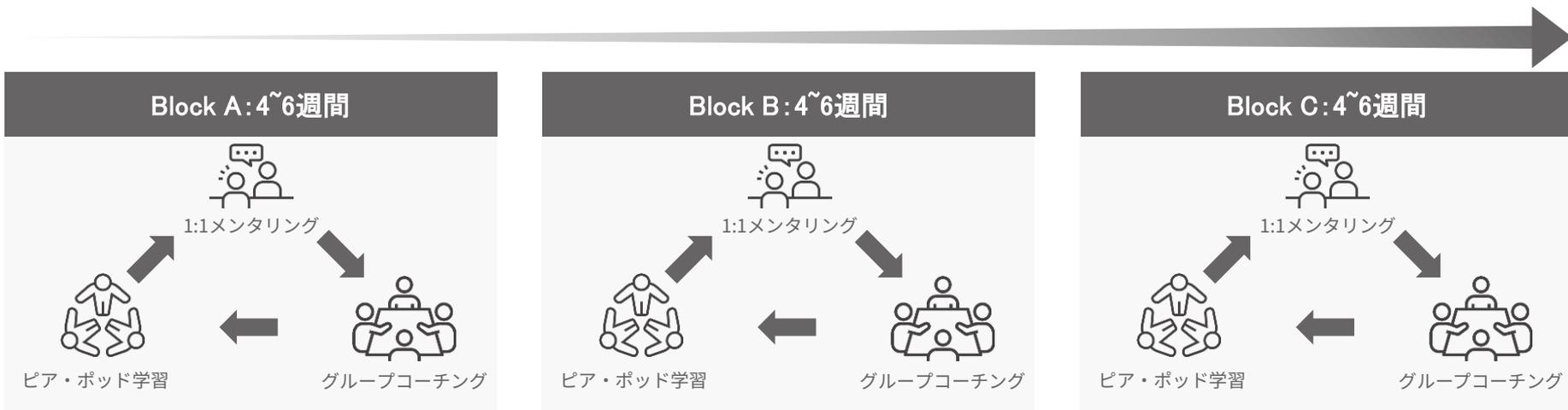
◆求められるコミットメント

参加者は9ヶ月にわたり、最低 12~20時間/月 程度のコミットメントが求められます。

- 月次：1on1メンタリング（60分）、グループコーチング（90分）
- 継続的活動：ピア・ポッド学習（少人数グループでの進捗共有と相互支援、オンラインカリキュラムや個別課題等）への取り組み

◆プログラムの基本構造

カリキュラムは、各4~6週間の4つのテーマ別ブロックを通じて提供されます。
各ブロックは月1回のメンタリング、グループコーチング、ピア・ポッド学習で構成されます。



◆各ブロックのテーマ例

✓ Technoeconomic Framing & Market Understanding

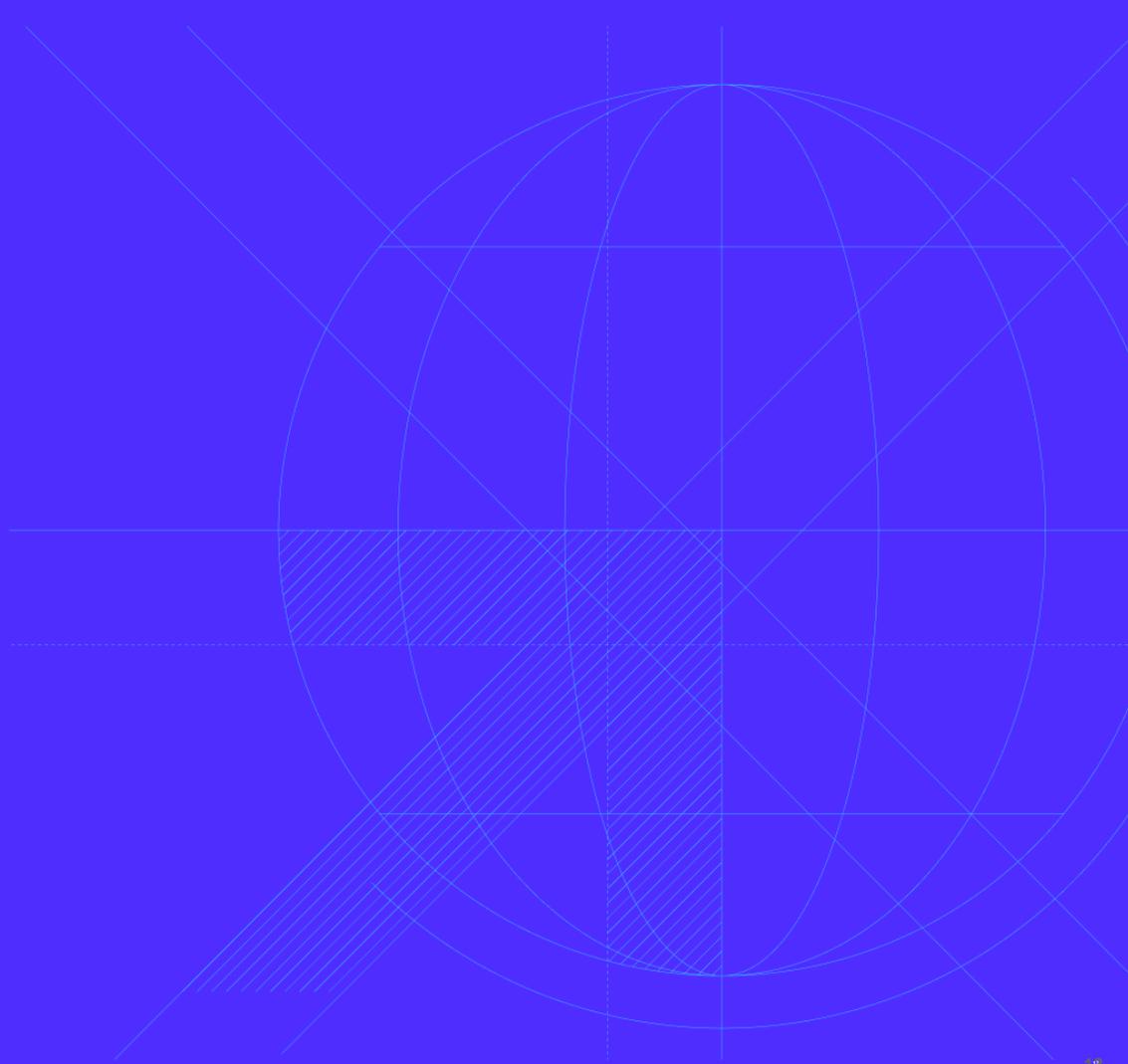
✓ Building Strategic Relationships

✓ Company Financing & Fundraising Strategy

✓ Execution Planning & Founder Communication

About Program Provider

運営体制



名称 **Activate**

概要

科学者やエンジニアがハードテック（物理的な製品やサービス）を社会実装し、起業家として成功できるよう支援する米国拠点の非営利組織

ミッションと特徴

科学者が画期的な研究を迅速かつ大きな影響力をもって市場に投入できるよう支援。

特に、長期的な研究開発と多額の設備投資が必要な「ハードテック」分野における「死の谷」を埋めることに注力。

連邦政府、州政府、慈善財団、企業など多様なパートナーからの資金で運営されており、短期的な金銭的リターンよりも長期的な社会的インパクトを最優先している。

実績 (2024年時点)

- 294人のフェローを支援し、235社の企業を設立。
- フェローが率いる企業は50億ドル以上の追加資金を調達し、投資対効果は50倍に到達。
- 約3,000人の新規雇用を創出し、1億3,600万ドル以上の収益を上げている。
- 企業の生存率は96%と高い。
- 125件の特許を取得。

Over \$5B in follow on funding

\$6M average follow-on-funding cohort companies raised during fellowship

Over 50x leverage on every dollar spent to support the fellowships

3,000+ new jobs created in the U.S. by Activate Fellows

>\$136M in total revenue earned by Activate companies

96% of Fellow companies are still active

4. Program Provider | Activate - 運営チームの紹介



Sarah Morrill

Executive Vice President

Activateにおいて、プログラム拡大・戦略立案を統括

過去にはActivate Fellowship Program全体の設計・運営品質を統括

Activate参画以前は、NPO・教育分野において、学校改革や人材育成プログラムの設計・運営に従事



Taylor Smith

Senior Program Manager for Asia programs

Activateのアジア地域担当として、2026年より参画

Activate参画以前は、米国有数の国際政策シンクタンクであるAtlantic Councilにおいて、次世代グローバルリーダー育成を目的とする国際フェローシップ・研修プログラムの企画・運営をリード

4. Program Provider | 運営体制と知的財産・守秘義務に関する基本方針



本プログラムは、Activateと東大IPC・博報堂により運営されます。
参加者が安心してプログラムに専念できる環境を担保するため、知財や守秘義務についても下記の通り明確にしております。

運営体制

Activate

参加者選考、カリキュラム・オンライン教材提供、メンタリング、参加者コミュニケーション全般

 **東大IPC** ・ **HAKUHODO** ・
Innovation Platform for The University of Tokyo

参加者募集・選考の運営、国内ワークショップの企画・運営、国内エコシステム関係者との接続支援、進捗管理

知的財産・守秘義務に関する基本方針



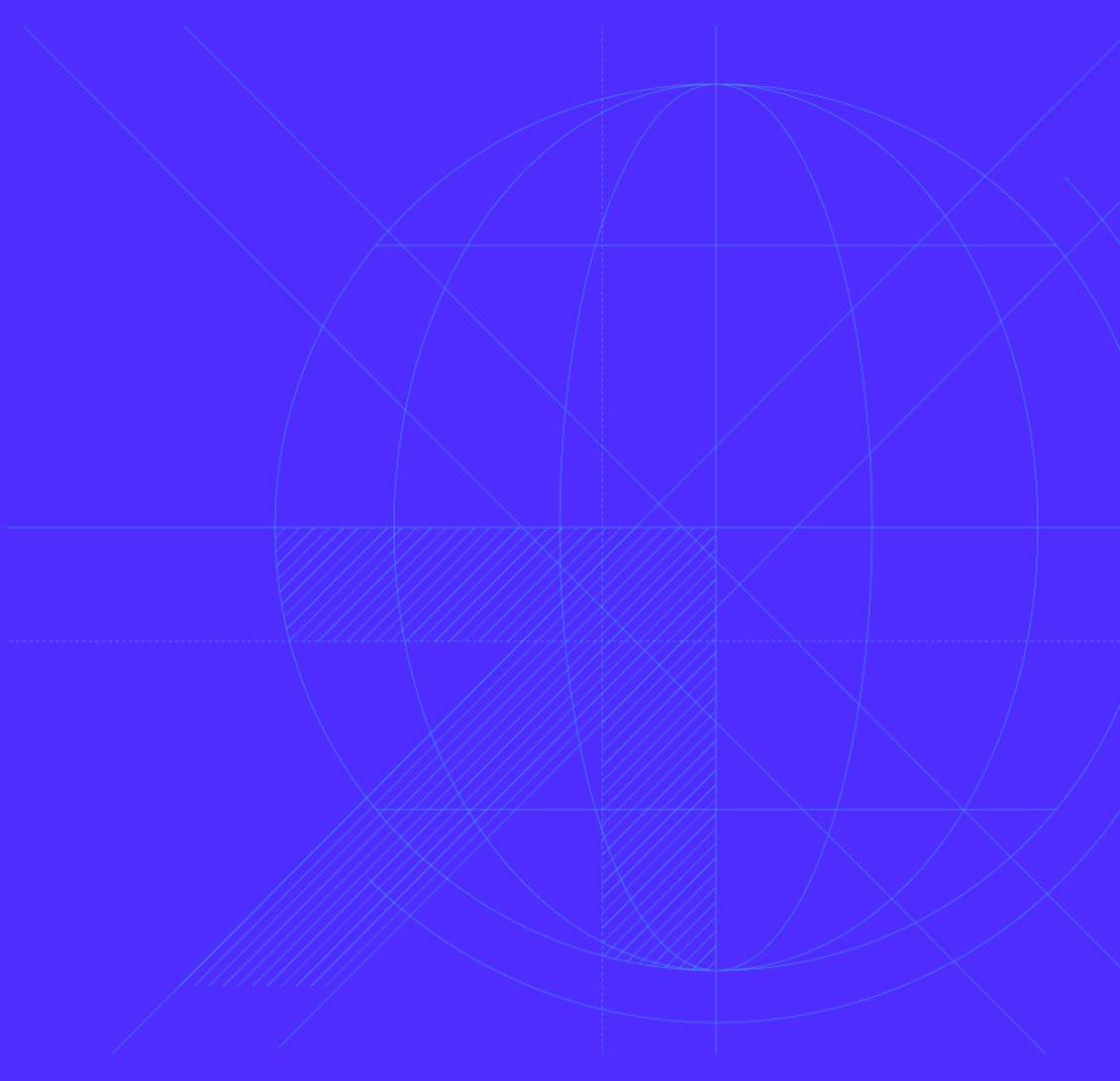
東大IPC及び博報堂と参加者間で守秘義務契約(NDA)を締結



本プログラムを通じて創出された成果物(事業計画、ピッチ資料等)の所有権はすべて参加者本人に帰属
(ただし、東大IPC、博報堂及びActivateにも資料等の閲覧等の権限が付与されます)

About Program Entry

応募要件・審査基準



応募要件

- A) 大学院在籍者、博士号保有者（主に若手研究者）
- B) 技術シーズに基づく起業に初めて主体的に取り組む意欲があること（連続起業家は対象外）
- C) 製品の量産・販売前であること。会社設立済みの場合、エクイティ調達（J-KISS等含む）を未実施であること
- D) 週3～5時間、月12～20時間程度のプログラム活動（メンタリング、コーチング、個別作業等）を確保できること
- E) 英語で円滑なコミュニケーションができること
- F) 日本国内の重要技術の国外流出につながる、もしくはその懸念のある活動等に参画及び関与しないことを誓約することができること

注意事項

- 過去にActivateが実施した同様のプログラムに参加した実績がある場合は対象外となります。

審査基準

エントリーフォーム・ご提出資料を基に、Activate/東大IPCによる審査を行います。採択審査にあたり、Activateと面談を実施する可能性があります。その際は追ってご連絡をいたします。なお、選考についてのお問い合わせは一切お答えできません。

1. チームメンバーの専門性・ネットワーク、語学力
2. プロダクト、技術、サービスの成長性・市場性
3. 本コースとプロダクトや事業計画との親和性

支給内容

参加者に対しては、事務局より以下の費用を支給いたします。

奨励金：1,500,000円（プログラム参加時及び終了時の2回、各回750,000円を支給）（※1）
アメリカでのプログラム参加時の渡航費・滞在費（※2）

※1活動開始時、その後3か月毎に上記概算額の3か月分を指定口座への事務局よる振込により支給いたします。

支給額の確定は、日々の活動時間を記録した日誌（採択時に提供いたします）の提出後、その内容を事務局側で確認し、別途設定する時間単価（採択時に通知いたします）×確認できた活動時間により算出いたします。

もし支給額確定後に、概算額とマイナス差異が生じている場合は、マイナス分については、次回支払いの概算額との相殺もしくは返金となる点、あらかじめご了承ください。

なお確定した支給額に、概算額に対するプラス差異が生じる場合、追加支給は行われませんのでご注意ください。

※2出張に関しては各回の支給額に上限（採択時に通知いたします）があることに加えて、以下の経費は対象外です。

なお渡航費・滞在費は、予め参加者自らが取得したのものについて、領収書及び各種証票（採択時に支給するマニュアルに清算方法を記載予定）及び請求書を受領後、当月締め翌月末払いにて支払う。

- A) 上限を超過した渡航費・滞在費
- B) エコノミークラス以上のクラスに搭乗するために要する追加費
（電車、船等の場合も、原則最も低いクラスの移動費のみが対象）
- C) 滞在時の飲食費・懇親・遊行関連費
- D) 本プログラム参加に直接的に必要なと判断できない費用

5. ENTRY | エントリー方法



◆提出資料

✓ Technical Vision
(技術説明、競争優位性、提供価値仮説、社会インパクト)

✓ (任意) 関連する学術論文

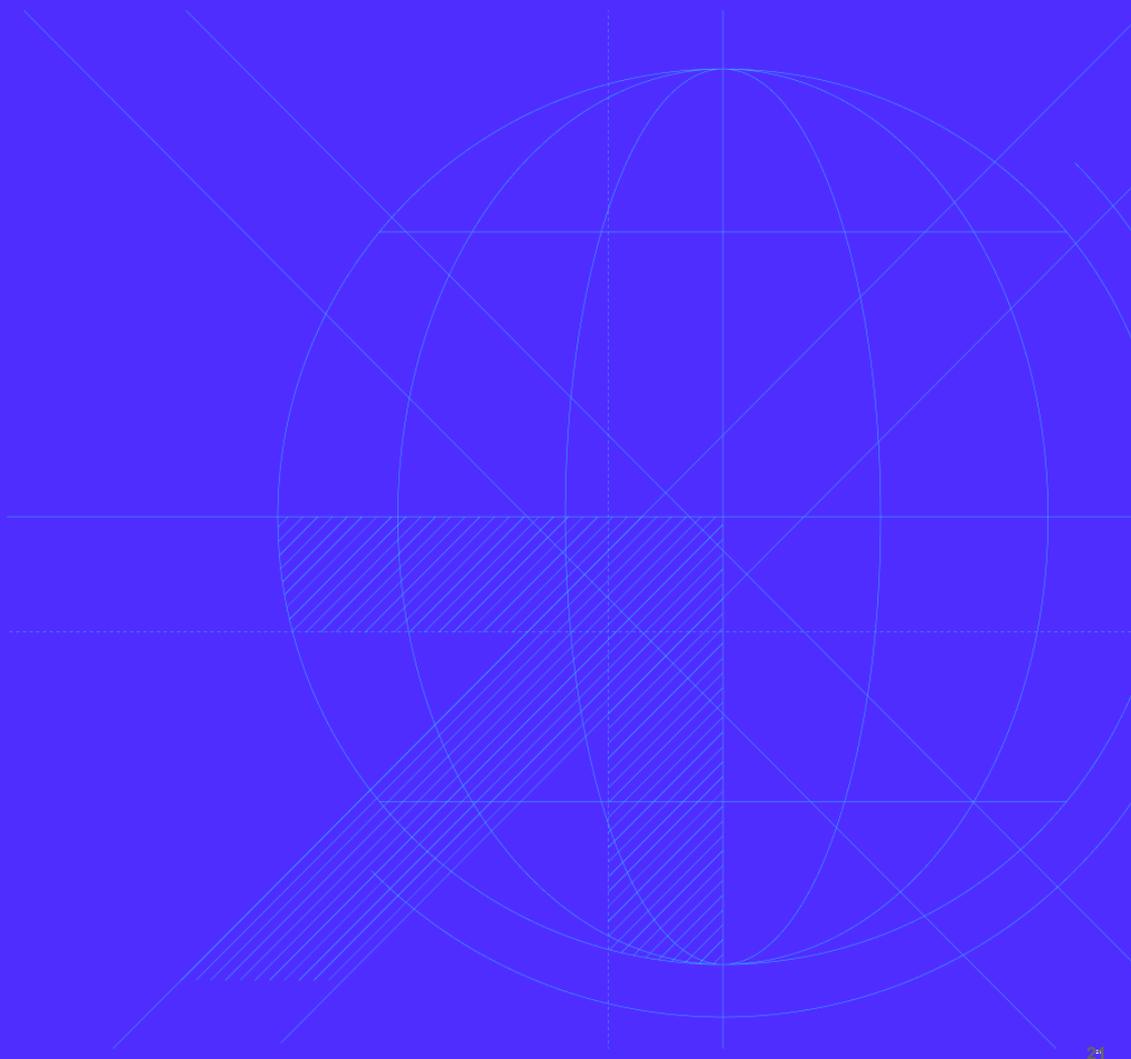
◆応募でお悩みの方へ

[お問い合わせ
フォーム](#)

応募にあたってお悩みの方に、東大IPCの担当者に相談できます。
※事前相談の有無は選考には一切関係ございません。また、ご応募数により締切を設ける可能性があります。

Frequently Asked Questions

FAQ



6. FAQ

Q 活動資金（インセンティブ）に関して教えてください。

A 最大150万円を支給。試作や市場調査など、事業化に向けた活動に使えます。

Q 米国派遣（US Immersion）では具体的に何をしますか？

A 約1週間の現地研修を実施。米国エコシステムを体感し、海外展開計画を作成します。

Q メンターにはどのような人がついてくれるのでしょうか？

A ディープテック領域に精通した起業家が担当。技術バックグラウンドを有する先輩起業家から実践的指導を受けられます。

Q まだ起業するか迷っていますが、応募しても大丈夫ですか？

A 大歓迎です。プログラムを通じて不確実性をクリアにし、起業の妥当性を検証できます。

Q 研究活動が忙しいのですが、どれくらいの時間拘束がありますか？

A 月12～20時間程度です。研究活動と並行して取り組めるよう設計されています。

Q チームで応募したいのですが、全員ですべて参加できますか？

A 正式参加は代表者1名です。但し、特定の議論になる場合、メンバーの同席も許可される場合があります。

EOF